

CMSサーバでのレコーダの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[導入](#)

[サポートされる展開](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Meeting Server(CMS)のCall Bridge(CB)コンポーネントでレコーダをセットアップするために必要な設定手順について説明します。

前提条件

要件

CMSの設定とWindows Server 2016に関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CMSバージョン3.12サービスCallbridgeおよびレコーダ
- Windows Server 2016

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

CMSレコーダーは、CMS（旧Acano）サーバのリリース1.9から使用できます。レコーダを使用すると、会議を記録し、その記録をNFS（ネットワークファイルシステム）ドキュメントストレージに保存します。

ージに保存できます。

レコーダはExtensible Messaging and Presence Protocol(XMPP)クライアントと同様に動作するため、Call BridgeをホストするサーバでXMPPサーバを有効にする必要があります。

レコーダライセンスが必要です。このライセンスは、レコーダサーバではなくCallBridgeコンポーネントに適用する必要があります。

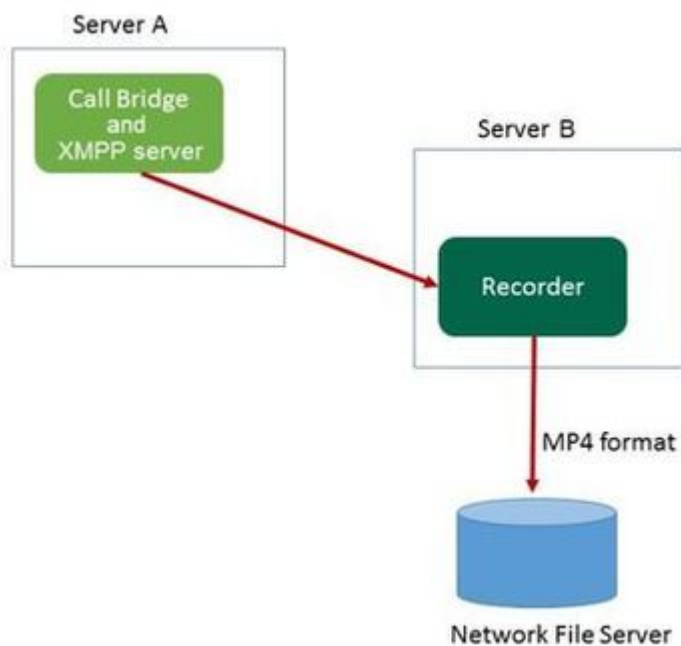
ネットワークファイルシステム(NFS)ディレクトリが必要です。Windows ServerまたはLinuxでセットアップできます。

- Windowsサーバの場合は、Windowsで[ネットワークファイルを展開する](#)手順を参照してください。
- Linuxの場合は、Linuxで[ネットワークファイルSystemonを展開する](#)手順を参照してください。

導入

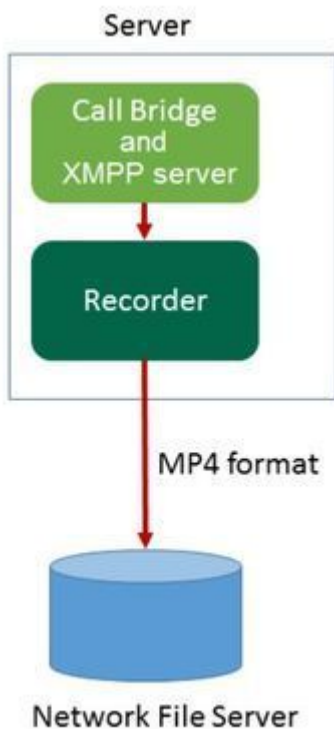
サポートされる展開

1. 録音可能な展開：リモートモード。



リモートモード

2. テスト目的でのみ許可された展開：ローカルモード。



ローカル モード

設定

ステップ 1 : Windows Server 2016でNFSを設定するには、次のドキュメントを参照してください。

[CMSレコーダのストレージとして使用するNFS共有の設定](#)

ステップ 2 : レコーダサーバでレコーダを設定し、有効にします。

ステップ 2.1 : コマンド`recorder sip listen <interface> <tcp-port|none> <tls-port|none>`を使用して、CMSのインターフェイスでリスンするようにレコーダを設定します。

```
cms01> recorder sip listen a:8888
```



注 : クラスタCBのノードでレコーダを設定する場合、インターフェイスは、レコーダを設定するノードのローカルリスニングインターフェイスにする必要があります。また、他のコンポーネントとは異なるポートを使用する必要があります。

ステップ 2.2 : 次のコマンドを使用して、レコーダによって使用される証明書ファイルを設定します`recorder sip certs <key-file> <crt-file> [<crt-bundle>]`。

```
cms01> recorder sip certs cms.key cms.cer root.cer
```



注：既存の証明書とCBで使用される秘密キーファイルを使用できます。 crt-bundleには、CBによって使用される証明書が含まれている必要があります（異なる場合）。クラスタ内にある場合は、クラスタ内のすべてのCBの証明書が含まれている必要があります。

ステップ 2.3： コマンドrecorder nfs <hostname/IP>:<directory>を使用して、録音を保存するNFSのホスト名またはIPアドレス、およびNFS上のディレクトリを指定します。

```
cms01> recorder nfs 10.124.56.222:NFS
```



注：レコーダーはNFSを認証しませんが、レコーダーサーバーにNFSディレクトリへの読み取り/書き込みアクセス権があることが重要です。

ステップ 2.4： SSHコマンドを使用してCMSでレコーダーサービスを有効にします。これにより、コマンドrecorder enableでレコーダーサービスがアクティブになります。

```
cms01> recorder enable
```

確認

コマンドrecorderを使用して、CMS SSHコマンドラインからレコーダのステータスを確認します。

```
cms01> recorder
Enabled : true
SIP interfaces : tcp a:8888, tls none
SIP key file : cms.key
SIP certificate file : cms.cer
SIP CA Bundle file : cms.cer
SIP traffic trace : Disabled
NFS domain name : 10.124.56.222
NFS directory : NFS
Resolution : 720p
Call Limit : none
```

CMS/configuration/APIでsiprecorderuriを使用してコールプロファイルを設定します。次に、アウトバウンドルールを設定し、ルールがメインボード管理プロセッサ(MMP)のレコーダポートおよび暗号化モードと一致する必要があります。

Outbound calls

Filter

Submit

	Domain	SIP proxy to use	Local contact domain	Local from domain	Trunk type	Behavior	Priority	Encryption	Tenant	Call Bridge Scope	
<input type="checkbox"/>	recorder.com	10.124.56.210:8888		<use local contact domain>	Standard SIP	Stop	30	Unencrypted	no	<all>	edit

アウトバウンドルール

トラブルシュート

1. 発信コールのルールで暗号化モードをautoに設定している場合、CMSのWebページのシステムステータスにエラー「Recorder "recorder@recorder.com" unavailable (connection failure)」が表示されます。

Outbound calls

Filter

Submit

	Domain	SIP proxy to use	Local contact domain	Local from domain	Trunk type	Behavior	Priority	Encryption	Tenant	Call Bridge Scope	
<input type="checkbox"/>	recorder.com	10.124.56.210:8888		<use local contact domain>	Standard SIP	Stop	30	Auto	no	<all>	edit

Encryption Autoモード

Status

Configuration

Logs

System status

Uptime	20 hours, 16 minutes, 22 seconds
Build version	3.12(Beta2)
Media module status	1/1 (full media capacity)
Lync Edge registrations	not configured
web app calls	0
SIP calls	1
Lync calls	0
Forwarded calls	0
Completed calls	46
Activated conferences	1
Active Lync subscribers	0
Total outgoing media bandwidth	64.8 Kbit/s
Total incoming media bandwidth	5.99 Kbit/s

Fault conditions

Date	Time	Fault condition
2025-10-20	14:55:29.208	Connection to CDR receiver "http://10.124.42.166:8088/cdr/CMS_002" failed (connect failure)
2025-10-20	14:55:29.208	Connection to CDR receiver "https://10.79.102.125/events/v1?authToken=f81ab82a-74c3-4e32-9673-f6f7996d224d" failed (connect failure)
2025-10-21	11:09:32.475	Recorder "recorder@recorder.com" unavailable (connect failure)

接続障害

2. CMSのWebページのシステムステータスで、発信コールルールのメインボード管理プロセッサ(MMP)設定に一致するポートを指定しないと、エラー「Recorder "recorder@recorder.com" unavailable (service unavailable)」が表示されます。

Status

Configuration

Logs

User

Outbound calls

Filter

Submit

<input type="checkbox"/>	Domain	SIP proxy to use	Local contact domain	Local from domain	Trunk type	Behavior	Priority	Encryption	Tenant	Call Bridge Scope	
<input type="checkbox"/>	recorder.com	10.124.56.210		<use local contact domain>	Standard SIP	Stop	30	Auto	no	<all>	[edit]

port

System status

Uptime	20 hours, 20 minutes, 34 seconds
Build version	3.12(Beta2)
Media module status	1/1 (full media capacity)
Lync Edge registrations	not configured
web app calls	0
SIP calls	1
Lync calls	0
Forwarded calls	0
Completed calls	52
Activated conferences	1
Active Lync subscribers	0
Total outgoing media bandwidth	63.2 Kbit/s
Total incoming media bandwidth	5.99 Kbit/s

Fault conditions

Date	Time	Fault condition
2025-10-20	14:55:29.208	Connection to CDR receiver "http://10.124.42.166:8088/cdr/CMS_002" failed (connect failure)
2025-10-20	14:55:29.208	Connection to CDR receiver "https://10.79.102.125/events/v1?authToken=f81ab82a-74c3-4e32-9673-f6f7996d224d" failed (connect failure)
2025-10-21	11:13:40.171	Recorder "recorder@recorder.com" unavailable (service unavailable)

利用不能なサービス

関連情報

- [Cisco Meeting Server 3.12 Single Combined Server導入ガイド](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。